



OKINAWA

ぬちぐすい

(社) 沖縄県作業療法士会ニュース 2012年4月 発行

「ぬちぐすい」は、沖縄県の作業療法士のみなさまのいのちのくすり（元気の素）になってほしいという願いです。

- | | |
|---|--|
| 1 … 巻頭言
公益法人制度改革の概要と
県士会の対応について（第7弾） | 4 … 研究会紹介
作業療法士リレーエッセイ |
| 2 … 平成23年度後期総会報告
九州各県・政令指定都市代表の精神障がい者
バレーボールチームが沖縄で全国を目指す | 6 … 事務局より
財務部よりお知らせ |
| 3 … 第10回沖縄県作業療法学会 | 7 … 昨年度のOT協会費、払いましたか？
私のいきがい人生ストーリー |
| | 8 … 広報部よりお知らせ 編集後記 |

(社) 沖縄県作業療法士会 会長 比嘉 靖 (県立精和病院)

我々沖縄県作業療法士会は、昨年臨時総会にて確認したとおり、今年度中の一般社団法人移行を実現させるため諸作業を進めております。同時に、団体としての足腰を鍛えるため、事務機能の強化を進めています。新年度には早速、県士会初の事務員採用も決めることができました。また、4月14日に行われた九州精神障がい者バレーボール大会の事務局も務め、無事成功させました。今後は当事者や家族への直接的な公益事業にも積極的に関わって行きたいと考えております。



また、すでにお知らせも回っておりますが、日本作業療法士協会初の代議員総会が5月26日（土）に行われます。沖縄県での代議員定数は3名ですが、立候補者が3名だったという事で選挙にはなりません。私、県立精和病院の比嘉靖と北中城若松病院の泰真実さん、大浜第一病院の宇田薫さん3名が沖縄県の代表として、代議員総会へ参加してきます。沖縄県会員の意見をできるだけ拾い集め、総会へ持って行きたいと考えております。ご意見のある方はぜひコンタクトを取りお話しいただきたいと思っております。

公益法人制度改革の概要と県士会の対応について（第7弾）

(社) 沖縄県作業療法士会
会長 比嘉 靖

臨時総会での一般社団法人への移行決定を受け、今回がシリーズ最終回です。次回以降は移行作業の進捗報告という形で会員の皆さんへお伝えしていきたいと思っております。

今後は県本庁への提出書類の作成・提出など、地道に進めて行きます。さらに手続きの進捗に合わせ、新団体への移行時期の決定をします。形式上、現団体は解散することになり文字通り生まれ変わるわけです。

会員団結し、県民に有益な夢を語る組織作りを目指し、ともに頑張りましょう。

開催日時：平成 24 年 3 月 17 日 19 時 00 分～20 時 15 分

開催場所：沖縄県総合福祉センター 403 研修室

出席会員数：433 名（本人出席：20 名、委任状出席：413 名） 会員総数：649 名

議長：新垣進氏（南部病院） 書記：仲地宗幸氏（オリブ山病院）、東恩納優二氏（宜野湾記念病院）

議事録署名人：山城峻氏（沖縄リハビリテーション福祉学院）、神山育子氏（宜野湾記念病院）

第 1 号議案 平成 24 年度事業計画について

平成 23 年度後期総会議案書に基づき、平成 24 年度事業計画を報告⇒承認。

第 2 号議案 平成 24 年度予算案について

平成 24 年度予算報告書に基づき、平成 24 年度予算について報告⇒承認。

第 3 号議案 監事について

比嘉靖氏より、嶺井毅監事の後任として、理事会において、宇田薫氏（大浜第一病院 訪問リハビリテーションセンター 天久の杜）の推薦があった事について報告⇒承認。



九州各県・政令指定都市代表の精神障がい者バレーボールチームが沖縄で全国目指す

大会事務局担当 桑江 良貴

去った 4 月 14 日（土）に沖縄市にある沖縄県総合運動公園体育館において、「第 12 回全国障害者スポーツ大会 バレーボール競技（精神の部）九州地区ブロック予選会（兼 第 10 回精神障がい者バレーボール九州地区大会）」が開催され、当士会は大会運営の中心団体として関わりました。熊本県を除く九州各県・政令指定都市（福岡市・北九州市）の代表 9 チームが激戦を繰り広げ、優勝は昨年度に続き連覇した佐賀県、準優勝は福岡県、3 位には地元沖縄県が入賞。優勝した佐賀県は 10 月に岐阜県で開催される全国大会へ派遣されます。3 位の沖縄県も強豪を倒しての入賞。3 位決定戦は、運営スタッフも無意識に力が入って応援していました。また、今大会の運営には多くの県士会員の協力のもと進めてきました。県士会としても公益的な活動の一つを担うことができた実感しています。

この場を借りてご協力いただきました会員並びに所属施設の職員、他団体の皆様にも重ねて深く感謝申し上げます。



お知らせ

①平成24年度前期総会について

日時：平成24年6月23日（土） 19:00～ ※会場等については後日改めて広報させていただきます。

②平成24年度新入会員オリエンテーションについて

日時：平成24年7月7日（土）

18:00～ 入会手続き

19:00～ オリエンテーション

※会場等については後日改めて広報させていただきます。

テーマ：「かえていくもの ・ かえないもの 」

～ つながるチカラをカタチに ～

日 程：平成 24 年 9 月 22 日 (土) ～ 23 日 (日)

会 場：浦添てだこホール

理学療法士及び作業療法士法が制定され 46 年が経過し、作業療法士の取り巻く環境は日々変化している。対象疾患の変化、作業療法自体の技術や知識、作業療法士のいる医療機関や制度……。作業療法士はそんな様々な変化に柔軟に対応する力とつながりを求められている。つい数年前までは、作業療法の中でも領域に分かれ、それぞれ専門的知識や技術の研鑽に励み、提供する作業療法の質の向上が重要であった。それは今現在も変わることなく、専門職としての作業療法士個々の責任として義務になっているといっても過言ではない。

しかし昨今、医療体系が複雑になり、疾患の多様化が専門性をより高度化している。他職種からチームの一員として信頼され、責任をもって作業療法を提供していくためには、今、作業療法の専門性に加え、分野・領域を超えたつながりが重要になると思われる。分野・領域を超えた作業療法士のつながりは、変えることのできない作業療法の本質を明確にし、さらには発展させていく足掛かりになるのではないか。

作業療法の本質は「作業」。それは変えることのできない重要な事。しかし社会の流れや様々な環境に順応していけるよう、変えていくモノを慎重に吟味し、つながりと勇気をもって変えていけるようなそんなきっかけに本学会が意識してもらえたらと思う。

【プログラム骨子】

特別企画： 「OT のここがすごい!! ～当事者の言葉から～」

セミナー： ①「語り場」(領域を超え経験年数の近い者同士で語り合いの場)

②自主企画セミナー①

③自主企画セミナー②

④自主企画セミナー③

口述発表Ⅰ～Ⅲ

ポスター発表Ⅰ～Ⅴ

市民公開講座：うつ病ってなんだろう

研究会紹介

学術部 石川 丈

今年度も7団体の研究会が一年間を通し、定期勉強会や研修会を開催していくことになりました。それぞれの研究会が県内で活躍する作業療法士や他職種と共に、知識や技術向上を図るべく活動していきます。

県士会員(県士会費納入が済んでいる方)であれば経験年数に関係なく誰でも参加できます。是非、足を運んでみて下さい。



地域連携リハビリテーション研究会

代表者：喜田 浩司
所属：医療法人葵会 ごきげんリハビリクリニック
メール：kidagokigen@yahoo.co.jp



地域連携リハビリテーション研究会は訪問に限らず患者さんを地域の OT で支えるネットワークや、「病院→訪問や通所」「OT と他職種」の連携について皆さんと勉強したいと考えています。毎月、訪問リハビリに関わる PT さん、ST さんと一緒に明日から使える気付きや視点をポイントにした勉強会を開催します。開催地域を南部・那覇市内・中部・北部と巡ることも検討中です。皆様のご参加をお待ちしています。

沖縄福祉用具支援技術研究会

代表者：金城知子
所属：沖縄リハビリテーション福祉学院
メール：t-kinjo@group.omotokai.jp
yhbpr686@yahoo.co.jp



研究会として、新人向けシーティング、ステップアップのシーティング、車いす調整など様々な福祉用具の勉強会と事例検討、テーマになる研究について検証を行いまとめるという活動を2ヵ月に1回のペースで実施。本年度末か来年度に移乗SIGの研修を開催する予定です。一緒に活動してみませんか。

沖縄県作業療法教育法研究会

代表者：上江洲 聖
所属：日赤那覇市安謝福祉複合施設
メール：uezuse@gmail.com



いま、目の前の患者さん、利用者さんに精一杯に尽くすこと。それだけでは不十分です。経験や学習から得た知識、技術、考え方を伝えることについて、学びを共に深めましょう。実習教育、卒後教育について情熱、アイデア、問題提起がある方連絡をください。ONE PIECEを模索中

臨床作業哲学研究会

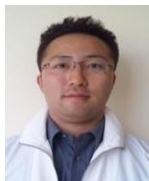
代表者：照屋 盛之
所属：沖縄リハビリテーション福祉学院
連絡先：m-teruya@group.omotokai.jp



臨床作業活動研究会は、臨床において作業がどのように扱われているか、現状を言葉で表現し、その可能性について検討しようとする会です。様々な現場や様々な考え方をもつ作業療法士が集い率直な言葉で議論を重ねていきたいと思っていますのでお気軽にご参加下さい。

沖縄作業行動研究会

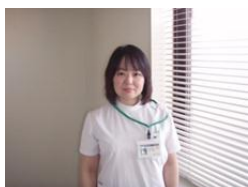
代表者： 田原 行英
所属：琉球リハビリテーション学院
メール：tahararyukyu@yahoo.co.jp



当研究会はクライアントの求める“作業”をMOHO（人間作業モデル）を中心に検討していく勉強会です。定期勉強会もありますが、今年は沖縄市でMOHOを用いた予防事業の「65歳大学」が行われます。また特別事例検討会や一日講習会なども積極的に行っていきます。
みんなで楽しく学んでいきましょう。

沖縄作業科学研究会

代表者：村上 典子
所属：豊見城中央病院
メール：jumapili_lj@yahoo.co.jp



私たちの生活は多くの作業から成り立ち、彩られています。対象者の方々が、また大切な作業を取り戻せるように、研究会を開催しています。
作業に関する知識や、可能化の方法、作業を捉えるポイントなどについて毎回熱く学んでいます。ぜひ、皆さんも参加してみてくださいね。

沖縄県精神科作業療法研究会

代表者：木下 匠
所属：オリブ山病院
メール：hakurikossetu@hotmail.co.jp



当研究会は歴史が長く、ベテランの先輩 OT と若手 OT が一緒にディスカッションできる大変貴重な場です。昨年は SIG (Special Interest Group) の認可を得たことで、ある一定のレベル以上の学術的活動が継続しているという保証も頂いています。今年度は「とにかく利用者の役に立ちたい！」をスローガンに、様々な企画を予定中です。皆さんと一緒に楽しく学びましょう。他領域の方の参加も大歓迎ですのでどうぞお気軽にご参加ください。

作業療法士リレーエッセイ

沖縄県の作業療法士を紹介します。第6回は、與那城亮さんです。

こんにちは(^^)/宜野湾記念病院の與那城亮です。
宜野湾記念病院には一般病棟・回復期病棟があり、その他にデイケア・訪問看護・訪問ヘルパー・訪問リハビリ等があります。

私は去年から訪問リハビリで勤務していて、OTとして働き始めて4年目になります。経験年数3年目で訪問リハビリへ配属することが決まり、ドキドキとワクワク…「病棟」から「在宅」という新たな舞台で自分に何が出来るのかと複雑な思いの中、訪問リハビリとしての勤務が始まりました。実際に利用者様が在宅生活をおくる中で生じる問題点への直接的な関わり、「今まではできなかったけど、やってみようかな。」という利用者様のチャレンジ精神を汲み取り、生活の幅を広げるためにサポートをする等、病棟リハとは一味も二味も違った関わりが訪問リハビリにはあると感じました。

また利用者様の自宅を訪問するとみられるうちな～名物「カメラカメラ攻撃」。沖縄の古き良き文化ですね…これもまた訪問リハビリの醍醐味ではないかと思えます。これからも利用者様やご家族様の“笑顔”がひとつつでも多く見られるように日々精進していきたいと思えます。



與那城亮さんからのバトンは誰の手に！？ 次回をお楽しみに！

事務局より

事務員の紹介



県士会員の皆様、こんにちは。4月より沖縄県作業療法士会事務局の事務員として働くことになりました作業療法士の上原葉子です。

現在『沖縄県総合福祉センター』のボランティア・小規模団体室内にある沖縄県作業療法士会事務局に勤務しており、火・水・金曜日の週3回、AM10:00~PM2:00の間、在席しています。現時点での業務内容は県士会員の情報登録・変更、郵便物・書類の整理などです。

今後、郵便物の発送や電話対応、各理事から色々な事務作業の申し送りをこなしていく予定です。今回、沖縄県作業療法士会事務局の事務員として、私が初めての採用になります。

今までの事務作業は、県士会理事の方々が仕事を終えた後、完全無償で行ってきたそうです。しかし、会員数の増加、公益団体としての事業の増加などがあり、作業が間に合わなくなってきた為、今年度から事務員雇用が検討されたそうです。その話があがっていた時、ちょうど育児休業中だった私に教育部の土田理事より打診を受けた事がきっかけで、この度事務員になりました。

この記事を書いている時点ではまだ3回しか勤務していませんが、事務員になってわかった事は、想像以上に裏方仕事が存在する事。その中でも、県士会員の正確な情報は必要不可欠です。改姓届や異動届が出されていなくて、所属先不明者がいると発送が困難になります。心当たりのある会員の方は、各種届け出の提出をよろしくお願いします。(実際、私は色々な届け出を出しておらず、さらに会費滞納者でした。ご迷惑をおかけしていた事が身にしみてわかりました・・・)

まだまだ不慣れで至らないところが多いと思いますが、精一杯頑張っていきますので、会員の皆様これからよろしくお願いします。

財務部窓口が変わります！

財務部よりお知らせ

これまで財務部長を務めてくださったたいずみ病院の比嘉孝子さんに変更しまして、この4月より沖縄リハビリテーション福祉学院の山城峻が財務部長を担当することになりました。これに伴い財務部の問合せ窓口も沖縄リハビリテーション福祉学院となります。

県士会費納入について

本年度より始まる県士会費のコンビニ振込みについて、事務局から郵送させて頂いた「所属会員一覧表」を必ずご返信ください。スムーズな対応が出来るよう努めますので、会員の皆様のご協力を宜しく申し上げます。

沖縄県作業療法士会では、学術技能の向上を目的に学会や研究会・講演会の開催や、学術誌の発行などを行っております。これらの運営は、みなさまからの会費によって成り立っております。また、県士会主催の学会・研究会などについては、当該年度までの会費が納入済みであることが参加の前提になります。個人、または全会員に対し意義ある県士会としての円滑な運営がなされるためにもみなさまのご協力が必要です。

振込先 : 琉球銀行 宜野湾支店
口座番号 : 493549
口座名 : 沖縄県作業療法士会

※納入額が不明の場合は財務部までご連絡ください。

※振込み名は会員名でお願いいたします(複数でのお振込みの場合はFAXにてその旨をご連絡下さい)。

※ご質問等ございましたら下記の連絡先にお問い合わせ下さい。なお、電話対応には時間の制約がございますので、FAXでのお問い合わせもご利用していただきますようお願い致します。何卒ご配慮をもってご了承賜りますようお願い申し上げます。

財務部 やましる たかし 山城 峻 (沖縄リハビリテーション福祉学院)

TEL (098) 946-1000

FAX (098) 946-1999

昨年度の OT 協会費、払いましたか？



土田真也(教育部担当理事)

みなさん、昨年度(2011 年度)までの日本作業療法士協会(OT協会)の年会費、払っていますか？

OT協会の会員についての取り扱いが変更となり、2011 年度から年会費を年度末の時点で未納の場合「強制退会」となることになっています。つまり、現時点で 2011 年度の年会費を未納のかたは、4 月 1 日時点で「強制退会」の対象となっています。

但し、経過措置として、5 月末までに納入すれば「復活処理」がなされ、今までどおり会員継続がなされることになっています。みなさん、今一度OT協会の年会費の納入状況をご確認ください。

なぜ、この記事が県士会の教育部担当理事の私が書いているかというと、生涯教育制度にも関係があるからなのです。昨年度までの年会費が未納で「強制退会」となった場合、再入会しようとする「新規入会」扱いとなり、会員番号が新規に割り振られることとなります。つまり、今までの会員番号で受講を積み重ねてきたOT協会の生涯教育履歴が継続できず、新規に受講しなさいといけなくなります。

なお、事情があって一旦退会しなければならない場合は、会費未納→強制退会ではなく、きちんと年会費を納入のうえ「退会届」を提出して退会してください。このように正規の退会をした場合は将来的に「再入会」が認められ、かつての会員番号が継続されて、過去の生涯教育履歴も継続されます。

※この件についてのお問い合わせは、日本作業療法士協会事務局(電話 03-5826-7871)へお願いします。

シリーズ『私のいきがい人生ストーリー』

このコーナーは、作業療法士が出逢った素敵な人生を送っている方々を紹介します。

第1回 比嘉 盛栄さん



～プロフィール～

沖縄県北中城村生まれ。30 歳頃より三線を習い始め、平成元年、新人賞、その後、平成 3 年優秀賞、教師免許を取得した。最高賞へ挑戦したが、2 回落選した。今度こそと 3 回目の挑戦をひかえていた。

平成 14 年 4 月、自宅にて血圧上昇、脳出血を発症した。

その後、三線への想いから再挑戦、オリジナルの奏法を編みだした。

現在、週 2 日デイサービスに通い、他利用者へ三線を指導、披露している。

また三線を弾こうと思ったきっかけは何ですか？

リハビリのおかげ。入院当初、自分は何もできないと夢をみているようだった。リハビリをし、いろいろ教えてもらって自分の気持ちが落ち着いて、自分で出来るようになって自分の気持ちに余裕ができた。

半身まひの障がいのまま、これでいいのかと考えるようになって自分に出来る事はないか、三線以外は何もできない、三線をとったら何も残らないと思った。最初は手と足で弾こうと思ったが出来なかった。

ある日、三線を持った時に自分の左手があるじゃないかと気づいた。

比嘉さんにとって、『三線』とは何ですか？

孫のため、一生懸命に生きるということの証。

これから何をしたいですか？

私の歌三線を聞いて、「勇気がわいた」「感動した」と言ってくれる人がいるとがんばろうと勇気と希望が湧いてくる。身体に自信がつくことは、自分の心に夢と希望が湧いてくる。

三線仲間を増やしたい。デイサービスに来てみんなと楽しく一日を大切にしたい。

家族のあたたかさ、忍耐強く看病してくれたことに感謝している。



広報部よりお知らせ

(社) 沖縄県作業療法士会のホームページ

<http://www.okinawa-ot.net/>



研修会案内のニュース・WEB サイト掲載

(社) 沖縄県作業療法士会ニュースおよび沖縄県作業療法士会 WEB サイトに研修会案内などの掲載を希望する場合は、記事原稿を添付し、広報部 E-mail まで送信ください。尚、記事のフォント・掲載形式は広報部編集担当が調整致します。

- ※ ニュースの原稿は発行前月 15 日までにお送りください。(平成 23 年度は 4 月、7 月、10 月、1 月の 4 回を予定)
- ※ WEB サイトへの掲載は、随時受け付けております。
- ※ 掲載費用は必要ありません。
- ※ 営利目的の割合が大きいと判断された場合等、掲載不適切と判断された場合は、掲載をご遠慮いただくことがありますのでご了承ください。
- ※ 研修会案内の掲載、記事の投稿、ご意見、ご要望、ご感想など、下記アドレスまでメールください。

(社) 沖縄県作業療法士会 広報部 E-mail ot_kouhou@yahoo.co.jp

編集後記

長女は、小学一年生になりました。ピッカピカの一年生。ランドセルはもちろん、こころもピッカピカです。通学する姿を見て、子どもの成長のはやさに驚かされる毎日です。いつまで一緒にお風呂に入ってくれるかな。いつまでもいつまでもピッカピカでいてください。

(社) 沖縄県作業療法士会 広報部 理事 田村浩介 (いきがいのまちデイサービス) 広報部長 久田直希 (琉球リハビリテーション学院)
部員 泰真実 (北中城若松病院) 原田伸吾 (ごきげんリハビリクリニック)
部員 仲間知穂 (琉球リハビリテーション学院) 田中裕子 (いきがいのまちデイサービス)

事務局：(社) 沖縄県作業療法士会 〒903-0804 那覇市首里石嶺町 4-373-1 沖縄県総合福祉センター内

Tel・Fax：098-988-3711 E-Mail：oki_ot_a_kugai@yahoo.co.jp

事務局長：久貝 明人 (カイアキト) 宜野湾記念病院 リハビリテーション科

〒901-2211 宜野湾市宜野湾 3-3-13 Tel：098-893-2101 Fax：098-892-8863

発行人：比嘉靖 (会長) 編集人：田村浩介 (広報部担当理事) 印刷：丸正印刷株式会社